

A. 主な動き

1. 内政

・19日、ティモフティ大統領は、政治の安定を獲得したことが2012年の最大の成果である旨発言。

2. 経済

▼マクロ経済

・19日、フィラト首相は、2012年のGDP成長率は、今夏の干ばつ及び欧州の景気後退のため0.3%程度となるであろう、また2013年のGDP成長率については4%程度を達成することを期待している旨発言。

・20日、ブリガ労働社会保障家族相は、2013年の平均賃金を3,850レイと見込んでいる旨発言。2012年10月期の平均賃金は3,482レイ。

3. 外交

▼ミニヨンPACE議長の来訪

・18日、ルブ議会議長は、モルドバを訪問したミニヨン欧州評議会議員会議(PACE)議長と会談し、ドニエストル川兩岸の信頼醸成及びモルドバ議会と沿ドニエストル「最高会議」議員間の対話の実施等を通じた沿ドニエストル紛争解決の展望、モルドバの欧州統合に向けた改革の進捗状況等に関し協議。

・19日、ティモフティ大統領は、モルドバ訪問中のミニヨンPACE議長と会談し、欧州評議会によるモニタリング終了に向けたモルドバ国内改革実現の必要性等に関し意見交換。

・19日、フィラト首相は、ミニヨンPACE議長との会談において歩み寄りの原則による沿ドニエストル紛争の解決プロセスに関し協議。ミニヨン議長は、欧州評議会加盟国であるウクライナ及びロシアと沿ドニエストル問題に関する交渉を実施する意向を表明。

・19日、カルポフ国家再統合問題担当副首相は、ミニヨンPACE議長と会談し、沿ドニエストル紛争解決問題に関し協議。ミニヨン議長は、モルドバの主権及び領土一体性の原則

に基づく問題の解決を全面的に支持する旨発言。

・20日、ミニヨン議長は、モルドバ議会での演説においてモルドバの欧州統合路線の支持を表明し、大統領選出方法に関する憲法78条の改正の必要性に言及。

▼その他

・15日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、イスタンブールで開催された第27回黒海経済協力機構(BSEC)外相会合に出席し、モルドバはBSEC・EU関係の強化、黒海諸国間の相互関係を促進するエネルギー回廊及び環黒海高速道路等のBSCEプロジェクト進展の必要性を強調。

・17日、フィラト首相は、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長と電話会談し、モルドバ・EU関係の現状及び展望に関し協議。ファン＝ロンパイ議長は、モルドバの欧州統合路線に関する近年の進展を歓迎し、今後もEUは支援を継続する旨表明。

・20日、議会は、6月26日に署名されたEUとの共通航空空域協定を批准。

4. 沿ドニエストル

・17日、シェフチューク「大統領」は、2013年1月1日に創設される「社会保護・労働省」の大臣代行にブラノヴァ年金基金常務理事長を任命する大統領令に署名。

・18日、シェフチューク「大統領」は、モスクワを訪問し、ロシア政府関係者と沿ドニエストルの社会・経済状況関連の問題に関し協議。

・21日、ルカシェヴィチ露外務省報道官は、沿ドニエストル紛争地域の「安全地帯」において1月1日に発生した発砲事件に関し、露平和維持部隊による武器使用は合法的であった旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)